

令和8年度事業計画

公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター

I. 概 要

<令和8年度事業基本方針>

令和8年度は、公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンターの第5期「中期計画」(令和9年度～13年度)の策定年にあたることから、これまでの事業効果の検証や関係者ヒアリングの結果を踏まえ、令和7年度に引き続き次期中期計画策定に向けた手続き等を進めるとともに、第4期中期計画(令和4年度～8年度)の最終年度の取り組みとして、令和7年度に引き続き、人や地域との関係づくりに重点を置き、当計画のコンセプトである『阿蘇 リレーション ～つながる阿蘇～』の到達を目指し、地域住民と阿蘇地域を訪れる人々にとって魅力あふれる持続可能な阿蘇づくりを推進します。

また、具体的な取り組みを進める上で、中期計画期間(5年間)のキーワードとして掲げた『人材育成』『関係人口』『伴走支援』を柱に、地域づくりの担い手を育てるとともに、関係人口拡大に向けた取り組みを進めます。同時に観光振興、起業支援、人的ネットワークの拡充に取り組み、阿蘇地域に還元します。

<令和8年度の主な取り組み概要>

- ① 地域振興分野では、過去5年間の取り組みを通して様々な成果が上がって来ている「あそ未来創造塾」や「阿蘇地域観光リーダー育成講座」などの「人材育成事業」に引き続き取り組むこととし、「阿蘇地域を担う次世代や新しい業」の育成を図り、積極的な「伴走支援」にも努めます。
- ② 観光振興分野では、本年度も好調な観光客の入込が期待されます。引き続き、各自治体や観光協会等と連携した旅行博への出展や公式ホームページ、SNS等を活用した積極的な情報発信を図ります。

また、インバウンドの急速な拡大を受け、観光庁の補助事業を活用した「インバウンド安全・安心対策推進事業」の取り組みを行う予定です。

さらに、新たなアクティビティとして、令和6年度から熊本県の補助事業を活用して取り組んでいる観光DXを織り込んだデジタルバッジキャンペーン(初心者向けの登山や公園等へのハイキング)を本年度も開催し、阿蘇地域全体で観光消費額の拡大を促進します。

<基本財産運用に関して>

基本財産の安定的な運用益を確保するため、取引証券機関からの情報収集に努め、世界の経済情勢や先行きの見通し、為替相場の把握を行うとともに、適宜、基本財産管理運用委員会への報告を行います。

<公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター公益事業について>

(令和4年度～8年度 中期計画)

公益目的事業1 豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～

(取組み1 地域資源を磨き上げる)

ア 草原再生PR事業

(1-① 草原再生保全支援事業)

イ 野焼き支援事業

(1-② 野焼き支援事業)

ウ 阿蘇産品の振興

(1-③ 阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント)

エ 世界ブランド事業の推進

(1-④ 世界ブランド事業の推進)

公益目的事業2 地域の元気再生による地域力向上

(取組み2 人を育て活動を支える)

ア 地域元気再生支援事業

(2-① 住民主体による地域づくり活動の支援)

イ 的確な情報の発信

(2-④ 情報の一元化と戦略的な情報発信)

ウ 阿蘇回帰運動への取り組み

(2-③ 阿蘇ファン拡大に向けた取り組み)

エ 人材育成事業

(2-② 地域づくりを担う人材の育成)

公益目的事業3 広域連携による競争力のある観光地づくり

(取組み3 人や資源をつなげ新たな価値を生み出す)

ア 新たな阿蘇資産の構築・推進

(3-① 付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出)

イ 何度も訪れたくなる観光地域づくり

(3-② 何度も訪れたくなる観光地域づくりの推進)

ウ 広域連動型観光まちづくり事業

(3-③ 市町村連携による観光地域づくりの推進)

<令和8年度収支予算>

○収入について 87,996千円…①

(内訳)基本財産運用益……………83,446千円
受取国庫補助金…………… 2,500千円(観光庁補助事業)
受取地方公共団体補助金… 2,000千円(熊本県補助事業)
雑収入(普通預金利息)… 50千円

- ・運用益については、平均で米ドル150.3円、豪ドル102円と予測する。
- ・補助金、負担金等については、現段階での見込額である。

○支出について 90,537千円…②

・人件費按分前の支出見込額
(内訳)事業費 …………… 54,250千円
管理費 …………… 36,287千円

人件費按分後の支出見込額
(内訳)事業費 …………… 69,396千円
管理費 …………… 21,141千円

- ・事業費については観光庁補助事業等が未確定のため変動が予想される。

○単年度収益費用差額 ①－②＝ ▲2,541千円…③

○期首一般純資産(公益法人に移行前からの繰越金残高 ※前期予算額)
49,641千円…④

○期末一般純資産 ③＋④＝ 47,100千円

<中期計画に基づく事業計画>

(公財)阿蘇地域振興デザインセンターの中期計画に基づく令和8年度の事業計画の概要は次のとおりとする。

| 事業番号 (中期計画における 取組番号) | 事業の内容 | 個別事業名 (中期計画における取組内容) | 予算額 (単位:千円) |
|----------------------------|---|---|----------------|
| 公1 (取組み1) | 豊かな自然 による世界 ブランドの 確立 ～阿蘇草原の 維持・再生～ | ア 草原再生PR事業 (1-① 草原再生保全支援事業) | 2,505 |
| | | イ 野焼き支援事業 (1-② 野焼き支援事業) | 1,505 |
| | | ウ 阿蘇製品の振興 (1-③阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント) | 500 |
| | | エ 世界ブランド事業の推進 (1-④ 世界ブランド事業の推進) | 12,005 |
| | | (公1事業費計) | 16,515 |
| 公2 (取組み2) | 地域の元気 再生による 地域力向上 | ア 地域元気再生支援事業 (2-① 住民主体による地域づくり活動の支援) | 6,050 |
| | | イ 的確な情報の発信 (2-④ 情報の一元化と戦略的な情報発信) | 1,750 |
| | | ウ 阿蘇回帰運動への取り組み (2-③ 阿蘇ファン拡大に向けた取組み) | 1,100 |
| | | エ 人材育成事業 (2-② 地域づくりを担う人材の育成) | 6,000 |
| | | (公2事業費計) | 14,900 |
| 公3 (取組み3) | 広域連携 による 競争力のある 観光地づくり | ア 新たな阿蘇資産の構築・推進 (3-① 付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出) | 5,400 |
| | | イ 何度も訪れたい観光地づくり (3-② 何度も訪れたい観光地づくりの推進) | 3,700 |
| | | ウ 広域連動型観光まちづくり事業 (3-③ 市町村連携による観光地づくりの推進) | 13,735 |
| | | (公3事業費計) | 22,835 |
| 事業費合計(人件費按分前) | | | 54,250 |

Ⅱ. 事業内容

【公益目的事業1 豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～】

(取組み1 地域資源を磨きあげる)

阿蘇特有の草原をはじめとした豊かな地域資源を阿蘇地域全体の地域活性化につなげていくため、地域資源を発掘し、維持・継承を支援するとともに、世界に通じるブランドとして確立するための取組を展開していきます。

ア 草原再生PR事業

(1-①草原再生保全支援事業)

| | | |
|------|--|---------|
| 事業内容 | <p>阿蘇が有する広大な草原は、千年もの間、人々の生業とともに維持されてきたものであり、草原の持つ、畜産、農業、水源涵養、観光といった多面的な機能を次世代へと継承していくため、その価値や現状を地域内外に発信し、草原の維持・再生に向けた普及・啓発に取り組めます。</p> <p>【1 阿蘇草原保全支援システムへ負担金】</p> | |
| 予算額 | 【総額】2,505千円 | |
| | ① 阿蘇草原保全支援システム負担金 | 2,500千円 |
| | ② 事務経費 | 5千円 |

イ 野焼き支援事業

(1-②野焼き支援事業)

| | | |
|------|--|---------|
| 事業内容 | <p>阿蘇の草原を維持するためには、毎年の放牧・採草・野焼きが必要です。担い手の高齢化や後継者不足を解消するため、地域内外からのボランティアが野焼き支援や輪地切り活動を支えています。</p> <p>阿蘇草原再生協議会や阿蘇草原保全支援システムと連携を図り、野焼き支援をはじめとする草原再生に取り組めます。</p> <p>【1 阿蘇草原保全支援システムへ負担金】</p> | |
| 予算額 | 【総額】1,505千円 | |
| | ① 阿蘇草原保全支援システム負担金 | 1,500千円 |
| | ② 事務経費 | 5千円 |

ウ 阿蘇産品の振興

(1-③阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント)

| | | |
|------|---|-------|
| 事業内容 | <p>あか牛をはじめとする阿蘇地域の畜産や農産物、食文化や景観、人々の暮らしや生業など、多様な阿蘇資源を再発見(リディスカバリー)・再生(リバース)し、その魅力を発信します。また、阿蘇資源が次世代に継承され、阿蘇の世界ブランド確立の礎となるよう、イベントや各種PRを通してブランド価値の維持と向上に取り組みます。</p> <p>【1 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業】</p> <p>SDGsにおける15番「陸の豊かさを守ろう」の活動として、地域で育てたものを、その地域で消費する地産地消及びその地域で販売する地産地商は、地域資源の保護にも繋がります。</p> <p>この視点に立ち「地元の食材を地元で食べたい」という消費者のニーズに応えるキャンペーンを行うことで、交流人口の創出を図ると共に、SDGsにも寄与します。</p> <p>・「阿蘇の食卓」の増刷</p> | |
| 予算額 | 【総額】500千円 | |
| | ① 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業 | 400千円 |
| | ② 事務経費 | 100千円 |

エ 世界ブランド事業の推進

(1-④世界ブランド事業の推進)

| | | |
|------|--|----------|
| 事業内容 | <p>平成25年5月の「世界農業遺産」の認定、平成26年9月の「阿蘇世界ジオパーク」の認定に続き、令和4年12月、2回目の世界再認定、阿蘇世界文化遺産の登録推進など、世界に通じるブランド確立に向けた動きを踏まえ、関係団体と連携を図り、「豊かな自然を活用した世界ブランドの確立」に向けて取り組みます。</p> <p>【1 阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金】</p> <p>世界に通じるブランドを目指す「阿蘇ジオパーク基本計画」を核とした阿蘇ジオパーク推進協議会の活動や新たな展開を支援します。</p> | |
| 予算額 | 【総額】12,005千円 | |
| | ① 阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金 | 10,000千円 |
| | ② 世界ジオパーク委員会世界審査負担金 | 2,000千円 |
| | ③ 事務経費 | 5千円 |

【公益目的事業2 地域の元気再生による地域力向上】

(取組み② 人を育て活動を支える)

持続可能な地域づくりのためには、地域づくりを担う人材が必要不可欠です。地域住民により主体的に取り組みされてきた地域づくり活動を支えるとともに、新たな担い手を発掘・育成するための取組を展開します。

ア 地域元気再生支援事業

(2-①)住民主体による地域づくり活動の支援)

| | | |
|------|--|---------|
| 事業内容 | <p>【1 阿蘇地域元気再生支援事業】 想定外の熊本地震やコロナ感染などを体験したことで生まれた地域住民や団体・組織等により、自発的に行われてきた地域の元気を取り戻すための活動や観光行動などに対し、引き続き助成事業を行います。 上記の内容を目的とした各市町村の地域団体や組織が行う事業(自治体の推薦必須)に対し、限度総額750千円の助成(助成金の額は助成対象経費の60%以下)を行い支援します。</p> | |
| 予算額 | 【総額】6,050千円 | |
| | ① 阿蘇地域元気再生支援事業助成金 | 6,000千円 |
| | ② 事務経費 | 50千円 |

イ 的確な情報の発信

(2-④)情報の一元化と戦略的な情報発信)

| | | |
|------|---|---------|
| 事業内容 | <p>市町村や関係機関と連携しながら、阿蘇管内にある様々な情報を阿蘇 DC 内で一元化し、阿蘇情報のポータルサイトや各種広報媒体を活用し、戦略的な情報発信を行うとともに、魅力的なコンテンツづくりに取り組みます。</p> <p>【1 観光情報ポータルサイト「阿蘇ナビ」と関連コンテンツの管理・運営・保守】 阿蘇ナビ (http://aso-navi.com) の拡充を図り、来訪者(特に台湾)に向けて阿蘇地域の旅や食及び交通アクセスなどの情報を発信します。</p> <p>【2 阿蘇 DC ホームページの管理・運営・保守】 阿蘇 DC 公式ホームページ (http://www.asodc.or.jp/) を引き続き運営し、阿蘇地域元気再生支援事業や各研修会を始めとする阿蘇 DC の事業や活動を広く発信します。</p> <p>【3 身近な情報媒体などでの情報の発信】 阿蘇地域の CATV やコミュニティ FM や SNS などを活用し、多方面にわたり情報を引き続き発信します。 令和8年度も、台湾本国や半導体関連企業の社員などをターゲットにした繁体字による情報発信を継続します。(台湾では Facebook が主流) 台湾向けの Facebook で紹介した繁体字による阿蘇地域の観光や暮らしをまとめた冊子が台湾の旅行社に好評であったことから8年度も作成し、引き続き、各種商談会・説明会や県内の TSMC 関係者用等に情報を発信します。</p> | |
| 予算額 | 【総額】1,750千円 | |
| | ① 阿蘇ナビの管理・運営・保守 | 50千円 |
| | ② 阿蘇 DC ホームページ管理運営費 | 200千円 |
| | ③ 身近な情報媒体等での情報の発信 | 1,200千円 |
| | ④ 事務経費 | 300千円 |

ウ 阿蘇回帰運動への取り組み

(2-③阿蘇ファン拡大に向けた取り組み)

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---|-------|-------------|-------|---|------------------|-------|---|-------------|-------|---|------|-------|
| <p>事業 内容</p> | <p>人口減少・高齢化により、阿蘇地域でも地域づくりの担い手不足という課題に直面しています。これまでの移住・定住促進だけでなく、阿蘇地域にルーツがある人や居住・滞在経験のある人など、阿蘇地域に何らかの関わりがある人々(関係人口)とのつながりを保つことにより、阿蘇ファンや阿蘇サポーターを増やす取り組みを進めます。</p> <p>【1 新たな関係人口創出事業】 地域に住む人々だけでなく、地域外から地域の行事などに参加するなどの「関係人口」の存在は、地域住民との交流において新たな価値を生み、地域の活性化や将来的な移住者の増加にもつながることが期待されます。 令和7年度においては、関係人口 Web サイトの拡充を図り、地域情報として、つなぎ人を核にした発信を継続しました。 令和8年度も、前年度同様つなぎ人の発掘に努め、内と外の関係性構築に努めます。</p> <p>【2 大都市圏における関係人口相談事業】 働き方の変化により生まれた大都市圏からの流入の動きが顕著となるなか、各自治体等と連携し、ふるさと回帰(移住定住や関係人口)に関する相談の場を設けます。 ・首都圏移住定住相談会 テーマとターゲットを明確にした移住定住相談会をふるさと回帰支援センターセミナールームで開催します。 ・福岡都市圏集中移住定住相談会 移住者や地域おこし協力隊において、居住地としてウエイトの多くを占める福岡都市圏をターゲットにした相談会を開催します。</p> <p>【3 阿蘇地域移住定住研修会】 担当者等の情報交換とスキルアップや先進的な考え方や取り組みについての学習の機会と情報の共有を図るために研修会を開催します。</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p>予算額</p> | <p>【総額】1,100千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">①</td> <td style="width: 85%;">新たな関係人口創出事業</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">200千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>大都市圏における関係人口相談事業</td> <td style="text-align: right;">500千円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>阿蘇地域移住定住研修会</td> <td style="text-align: right;">200千円</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>事務経費</td> <td style="text-align: right;">200千円</td> </tr> </table> | ① | 新たな関係人口創出事業 | 200千円 | ② | 大都市圏における関係人口相談事業 | 500千円 | ③ | 阿蘇地域移住定住研修会 | 200千円 | ④ | 事務経費 | 200千円 |
| ① | 新たな関係人口創出事業 | 200千円 | | | | | | | | | | | |
| ② | 大都市圏における関係人口相談事業 | 500千円 | | | | | | | | | | | |
| ③ | 阿蘇地域移住定住研修会 | 200千円 | | | | | | | | | | | |
| ④ | 事務経費 | 200千円 | | | | | | | | | | | |

エ 人材育成事業

(2-②地域づくりを担う人材の育成)

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-----------------|---------|---------------------|-------|------------------------|-------|-------------|-------|--------|-------|
| <p>事業内容</p> | <p>地域課題の解決や地域活性化につながるよう、具体的なアクションにつなげるための学び直し(リカレント教育)の機会として、人材発掘や人材交流などを目的としたセミナーや研修会の開催など、人が学びつながる場の提供に努めます。また、ビジネスを通じて地域づくりに取り組む意欲のある次世代の起業支援を行います。</p> <p>【1 令和8年度 あそ未来創造塾】(熊本大学との共催) 人口減少を克服し、地域経済を活性化させるための地方創生の一貫として開講した「あそ未来創造塾」。これまでの成果に加え、阿蘇地域を横断する人的ネットワークを拡充するために、令和8年度も引き続き開講します。</p> <p>【過年度の実績】 令和3年度11名修了 令和4年度11名修了 令和5年度12名修了+聴講生1名 令和6年度14名修了 令和7年度14名修了(予定)</p> <p>【2 あそ未来創造塾スプリングフォーラム】 あそ未来創造塾の修了生及び他自治体の修了生の活動状況報告や意見交換を通して、新たなネットワークの形成を促し、阿蘇地域の未来を共に創造する機会とするために、令和8年度も引き続き開催します。</p> <p>【3 地域振興などに関する高校生のキャリア教育】 次世代が地域に目を向け、将来的に地域づくりを担うきっかけとなるよう、若年層へのキャリア教育に取り組みます。</p> <p>【過年度の実績】 令和4年度 小国高校 令和5年度 阿蘇中央高校 令和6年度 高森高校 令和7年度 小国高校、阿蘇中央高校(予定)</p> <p>【4 地域づくりセミナー】 地域づくりに関するセミナーを年3回開催し、地域振興を担う人材育成や先進的な取り組みについての見識を深めます。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>算額</p> | <p>【総額】6,000千円</p> <table border="1"> <tr> <td>① 令和8年度 あそ未来創造塾</td> <td>4,300千円</td> </tr> <tr> <td>② あそ未来創造塾スプリングフォーラム</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>③ 地域振興などに関する高校生のキャリア教育</td> <td>600千円</td> </tr> <tr> <td>④ 地域づくりセミナー</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>⑤ 事務経費</td> <td>300千円</td> </tr> </table> | ① 令和8年度 あそ未来創造塾 | 4,300千円 | ② あそ未来創造塾スプリングフォーラム | 500千円 | ③ 地域振興などに関する高校生のキャリア教育 | 600千円 | ④ 地域づくりセミナー | 300千円 | ⑤ 事務経費 | 300千円 |
| ① 令和8年度 あそ未来創造塾 | 4,300千円 | | | | | | | | | | |
| ② あそ未来創造塾スプリングフォーラム | 500千円 | | | | | | | | | | |
| ③ 地域振興などに関する高校生のキャリア教育 | 600千円 | | | | | | | | | | |
| ④ 地域づくりセミナー | 300千円 | | | | | | | | | | |
| ⑤ 事務経費 | 300千円 | | | | | | | | | | |

【公益目的事業3 広域連携による競争力のある観光地づくり】

(取組み③ 人や資源を繋げ新たな価値を生み出す)

阿蘇を中心とした他県の周辺地域も巻き込みながら、多様な人材や地域資源をつなげるにより、阿蘇地域ならではの魅力的なコンテンツづくりに取り組むとともに、国内外からの受け入れ体制を整え、地域連携 DMO として、観光客と地域住民双方に配慮した持続可能な観光地域づくりを目指します。

ア 新たな阿蘇資産の構築・推進

(3-① 付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出)

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|---------------------|---------|------------------|-------|---------------------|-------|------------------------|-------|--------|-------|
| <p style="text-align: center;">事業 内容</p> | <p>人々の価値観の多様化やコロナ禍後の新たな観光様式などにより、観光地に求められるコンテンツにも変化が生じています。</p> <p>阿蘇地域の人々が暮らす場を舞台とした交流機会の創出、地域住民との交流や体験を目的とした滞在型観光の開発など、「食と農、暮らし、景観」をテーマとした阿蘇らしい新たな観光ツールを提案します。</p> <p>【1 付加価値の高いアクティビティの構築】</p> <p>阿蘇地域の新たなアクティビティとして、過年度において阿蘇地域の南・中・北エリアで「ロゲイニング」を4回開催しています。その結果、「観光ロゲイニング」として各地域で継続されています。その後、令和6年度より、熊本県の補助事業として、ロゲイニングの進化系である「デジタルバッジキャンペーン」という新たなアクティビティに取り組み、令和7年度には、当初の見込みを大きく上回る参加者数及び経済効果を得ることが出来ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初参加者見込 2,500名 ⇒ 実績 4,960名 ・当初経済効果見込 1,060万円 ⇒ 2,760万円 <p>令和8年度は当事業に係る熊本県の補助事業の最終年度となるため、参加者数及び経済効果の増加に向けて更なる改善を図ります。</p> <p>※デジタルバッジキャンペーンとは…</p> <p>登山愛好者には山小屋やふもとの売店で販売されている登山バッジを収集する(バッジコレクター)文化があります。このキャンペーンは山頂などのアウトドアスポットと温泉・物産館などの消費が見込まれるスポットにランドマーク(訪問スポット)を設定し、ランドマークを訪れることによりバッジを取得できるシステムを構築することにより、両スポットを結び付け阿蘇地域全体で観光消費額の拡大を促進するものとなっています。</p> <p>【2 阿蘇エコツーリズム協会の支援】</p> <p>阿蘇地域の豊かな自然や景観を地域資源とした地域住民との交流や体験を目的とした取り組みに対し支援を行います。</p> <p>【3 阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援】</p> <p>「農泊」を通して、阿蘇地域の豊かな自然や景観を地域資源とした地域住民との交流や体験を目的とした取り組みに対し支援を行います。</p> <p>【4 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金】</p> <p>同協議会の行う阿蘇山上ビジターセンターの運営に対する取り組みに対し、支援を行います。</p> | | | | | | | | | | |
| <p style="text-align: center;">予算額</p> | <p>【総額】5,400千円</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">① 付加価値の高いアクティビティの構築</td> <td style="text-align: right;">4,500千円</td> </tr> <tr> <td>② 阿蘇エコツーリズム協会負担金</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> </tr> <tr> <td>③ 阿蘇グリーンツーリズム協議会負担金</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> </tr> <tr> <td>④ 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金</td> <td style="text-align: right;">100千円</td> </tr> <tr> <td>⑤ 事務経費</td> <td style="text-align: right;">200千円</td> </tr> </table> | ① 付加価値の高いアクティビティの構築 | 4,500千円 | ② 阿蘇エコツーリズム協会負担金 | 300千円 | ③ 阿蘇グリーンツーリズム協議会負担金 | 300千円 | ④ 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金 | 100千円 | ⑤ 事務経費 | 200千円 |
| ① 付加価値の高いアクティビティの構築 | 4,500千円 | | | | | | | | | | |
| ② 阿蘇エコツーリズム協会負担金 | 300千円 | | | | | | | | | | |
| ③ 阿蘇グリーンツーリズム協議会負担金 | 300千円 | | | | | | | | | | |
| ④ 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金 | 100千円 | | | | | | | | | | |
| ⑤ 事務経費 | 200千円 | | | | | | | | | | |

イ 何度も訪れたい観光地域づくり

(3-② 何度も訪れたい観光地域づくりの推進)

| | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--|---------------|---------|---------------|---------|---------------------|---------|--------------|-------|--------|-------|
| 事業内容 | <p>阿蘇地域への観光客の特徴として、リピーター率が高い傾向があり、何度も訪れる中で地域との関係が生まれ、移住につながるケースも見られます。また、SDGsにおいては、住み続けられるまちづくりのために、都市部と周辺部・農村部が良好につながる必要性が示されています。</p> <p>そのため、「何度も訪れる旅、通う旅」(リビジット)に向けて、阿蘇地域の四季折々の表情、個性豊かな地域ごとの魅力、地域の食材を生かした食、訪れるたびに得られる発見・体感など、様々な魅力を活かして、何度も訪れたい観光地域づくりに取り組みます。</p> <p>【1 国内旅行者誘客創出事業】 急速な観光需要の回復を受けて、首都圏や福岡等からの誘客に取り組みます。 ・「女子旅 EXPO」「九州旅行博」などへの出展 女子旅の需要が高まるなか、これまでに阿蘇地域でもいくつかの女子旅コンテンツが造成されています。令和8年度も「女子旅 EXPO」や「九州旅行博」などへ出展します。</p> <p>【2 マイクロツーリズム事業】 阿蘇くまもと空港において、国内外からの旅行者や送迎者に対し、印刷物やマップの提供を行うとともに阿蘇地域の魅力をビジュアル面から PR する動画を放映し、空港利用者を阿蘇地域へ誘導します。</p> <p>【3 阿蘇地域観光推進協議会との連携事業】 阿蘇地域観光推進協議会と連携し、阿蘇地域への誘客・周遊促進の強化を図ります。</p> | | | | | | | | | | |
| 予算額 | <p>【総額】3,700千円</p> <table border="1" data-bbox="323 1189 1442 1406"> <tr> <td>① 国内旅行者誘客創出事業</td> <td>1,000千円</td> </tr> <tr> <td>② マイクロツーリズム事業</td> <td>1,200千円</td> </tr> <tr> <td>③ 阿蘇地域観光推進協議会との連携事業</td> <td>1,000千円</td> </tr> <tr> <td>④ 各種観光 PR 事業</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>⑤ 事務経費</td> <td>200千円</td> </tr> </table> | ① 国内旅行者誘客創出事業 | 1,000千円 | ② マイクロツーリズム事業 | 1,200千円 | ③ 阿蘇地域観光推進協議会との連携事業 | 1,000千円 | ④ 各種観光 PR 事業 | 300千円 | ⑤ 事務経費 | 200千円 |
| ① 国内旅行者誘客創出事業 | 1,000千円 | | | | | | | | | | |
| ② マイクロツーリズム事業 | 1,200千円 | | | | | | | | | | |
| ③ 阿蘇地域観光推進協議会との連携事業 | 1,000千円 | | | | | | | | | | |
| ④ 各種観光 PR 事業 | 300千円 | | | | | | | | | | |
| ⑤ 事務経費 | 200千円 | | | | | | | | | | |

ウ 広域連携による競争力のある観光地づくり

(3-③ 市町村連携による観光地域づくりの推進)

| | |
|------|--|
| 事業内容 | <p>阿蘇地域を構成する8市町村だけでなく、他県の周辺地域や全国観光圏との連携を図り、阿蘇 DC の人的ネットワーク等を活用しながら、DMO として、広域周遊型の観光まちづくりの構築・発展を目指します。</p> <p>また、訪日外国人旅行者の急速な増加を踏まえ、受入れに対応できる環境整備に取り組みます。</p> <p><阿蘇くじゅう観光圏事業・・・地域 DMO> 令和8年度も訪日外国人旅行者や国内旅行者の活発な動きに対し、積極的な活動を展開します。</p> <p>訪日外国人旅行者への対応については、東アジア圏からの誘客に努めます。 国内外から選ばれる競争力の高い魅力ある観光地域の形成に向け、全国観光圏推進</p> |
|------|--|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---|---------------------|---------|--|----------------|------------------|---------|--------------|-------|----------------------|---------|----------------------|-------|------------------|---------|----------------------|-------|--------------------------|---------|--------|---------|
| | <p>協議会と連動を継続し、満足度(マーケティング)調査や地方に眠る独自の文化や体験に高付加価値を見出す「Undiscovered Japan」などの展開にも努めます。</p> <p>また、令和8年度も、観光圏整備法に基づき策定した「阿蘇くじゅう観光圏整備計画(令和5年度から9年度)」に則り、エリア内の関係市町村や全国観光圏推進協議会と協働した活動を行います。</p> <p>【1 インバウンド安全・安心対策推進事業】(観光庁補助事業) 訪日外国人旅行者が急速に拡大する中、単なる防災ではなく、阿蘇地域で観光危機管理体制を構築するとともに、これをきっかけとして、自治体や機関の垣根を超えた横の連携を創出し、地域一体となった今後の様々な取り組みの基礎を築く契機とします。</p> <p>【2 全国観光圏推進協議会連携事業】 ＜阿蘇くじゅう観光圏に関する事業(案)＞ ・阿蘇くじゅう観光圏マーケティング調査(満足度調査) ※阿蘇 DC、竹田市、高千穂町 ・全国観光圏推進協議会事業(研修会など)</p> <p>【3 九州3観光圏連携事業】 九州3観光圏連携による「周遊創出事業」に取り組むとともに、「連絡調整会議」等を開催し、ネットワークの構築と情報の共有化を図ります。</p> <p>【4 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議の運営・支援】 訪日外国人旅行者や国内旅行者の誘客を図るため、東京で開催される「ツーリズム EXPO」へ出展し、竹田市、高千穂町、阿蘇地域の PR を行います。 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い休止状態となっている「阿蘇くじゅう高千穂地域観光地域づくりマネージャー会議」を復活させるとともに「観光地域づくりセミナー」や阿蘇地域を会場とする「全国観光圏推進協議会 観光地域づくりマネージャーステップアップ研修会」を開催します。</p> <p>【5 ツーリズム EXPO への出展】(※阿蘇地域 PR 強化分) 訪日外国人旅行者や国内旅行者の阿蘇地域への誘客を図るため、東京で開催される「ツーリズム EXPO」へ出展します。</p> <p>【6 阿蘇地域観光リーダー育成講座】 魅力ある観光地域づくりをリードする「観光人材」を育成することを目的として、令和3年度から開催していますが、令和8年度においては、基礎講座に「生成 AI 活用」を加え、更なるバージョンアップを図る予定です。【令和7年度の実績】15名</p> <p>【7 ジオツーリズム・・・阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業】 ジオツーリズム促進の一環として、推進協議会と連携し、発行物の多言語化を行います。</p> <p>【8 DMO 登録制度に係る新ガイドライン対応経費】 研修経費及び KPI 計測経費</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予算額 | <p>【総額】13,735千円(補助金等予定額/2,500千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>① インバウンド安全・安心対策推進事業</td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(定率補助 2,500千円)</td> </tr> <tr> <td>② 全国観光圏推進協議会連携事業</td> <td>1,200千円</td> </tr> <tr> <td>③ 九州3観光圏連携事業</td> <td>200千円</td> </tr> <tr> <td>④ 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金</td> <td>1,300千円</td> </tr> <tr> <td>⑤ ツーリズム EXPO2026への出展</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>⑥ 阿蘇地域観光リーダー育成講座</td> <td>3,000千円</td> </tr> <tr> <td>⑦ 阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>⑧ DMO 登録制度に係る新ガイドライン対応経費</td> <td>1,000千円</td> </tr> <tr> <td>⑨ 事務経費</td> <td>1,035千円</td> </tr> </table> | ① インバウンド安全・安心対策推進事業 | 5,000千円 | | (定率補助 2,500千円) | ② 全国観光圏推進協議会連携事業 | 1,200千円 | ③ 九州3観光圏連携事業 | 200千円 | ④ 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金 | 1,300千円 | ⑤ ツーリズム EXPO2026への出展 | 500千円 | ⑥ 阿蘇地域観光リーダー育成講座 | 3,000千円 | ⑦ 阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業 | 500千円 | ⑧ DMO 登録制度に係る新ガイドライン対応経費 | 1,000千円 | ⑨ 事務経費 | 1,035千円 |
| ① インバウンド安全・安心対策推進事業 | 5,000千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (定率補助 2,500千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 全国観光圏推進協議会連携事業 | 1,200千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 九州3観光圏連携事業 | 200千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金 | 1,300千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ ツーリズム EXPO2026への出展 | 500千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑥ 阿蘇地域観光リーダー育成講座 | 3,000千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ 阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業 | 500千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧ DMO 登録制度に係る新ガイドライン対応経費 | 1,000千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨ 事務経費 | 1,035千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |